

# ぬまづ憲法9条の会

138号

事務局  
神田健夫  
921-7755

## 安倍首相は 改憲より 疑惑解明、退陣を

静岡新聞社説（7月5日付）は、「年内に改憲案提出 首相の独善を危惧する」と論ずる。

まずは、安倍首相が憲法9条の解釈が「基本的に変わらない」と言うなら、改憲の必要性に乏しい。さらに憲法の論議が政局的に利用されてはならない。これらを理由にあげている。各種世論調査でも安倍改憲に批判的だ。だが・・・

### 改憲へ党を挙げて

5月3日の安倍改憲発言以降、自民党は6月には、改憲推進本部に党三役や重鎮を取り込み、挙党態勢を

築き上げた。

その上で、夏の間も休みに論議を一巡させる方針を確認した。

7月2日の都議選で自民党は惨敗。だが、直後の毎日新聞インタビューで、安倍首相は、来年6月の改憲発議に向け、今秋の臨時国会に自民党の改憲原案を提案する計画は、「変わっていない」と断言した。

### 改憲項目をしぼる

7月23日、日本青年会議所の会合では「この夏に汗を流しながら、改憲項目をしぼっていく」と表明した。

都議選での惨敗と安倍内閣支持率の続落にもかかわらず、である。

### 臨時会要求に背を向け

安倍首相は、野党の憲法53条に基づく臨時国会要求は無視し続ける。改憲には執念を燃やし続ける。平然と憲法を足蹴にし壊そうとする。こんな首相は初めてである。

安倍首相は、自爆改憲（自らは滅びても改憲だけは成就させる）を覚悟しているとも言われる。

### 森友 加計 P KO日報

改憲の前に自爆させなければならぬ。森友（妻・安倍昭恵）、加計（親友・加計幸太郎）、P KO日報（秘蔵っ子・稲田大臣）など、安倍首相の国政の私物化に、疑惑の目が注がれ、怒りの炎がめらめらと燃えている。

森友・加計・P KO日報、数々の疑惑を国会で解明し

なければ。アベ首相には一刻も早く辞めてもらわねば。世論と運動こそ、実現の力だ。

### 公文書管理法はどこに

森友学園と近畿財務局は「事前に価格交渉はしていない」（佐川財務局長、栄転して国税庁長官に）。だが、価格交渉をしていたとNHKがスクープ（珍しく）。結局、値引きは8億円。

加計学園で今治市職員の官邸訪問に、関係官僚は次々「会っていない」。官邸「来訪記録がない」（！）と萩生田官房副長官。隠していたP KO日報。

“発見”されたら稲田大臣「明日国会でどうしよう」と、自衛隊幹部のメモ。フジテレビのスクープ（珍しく）。

「国民共有の知的財産」として「民主主義の根幹を支える」行政文書（本来メモを含む）が、無かったものとされ、官僚の行動は

「記憶にない」と消し去られる。

前川前文科次官は別にして「全てこの世は嘘だらけ」か！

◇◇◇◇◇

### 改憲を断念させよう

集会・真夏パージョン

□ 8月27日・日曜

15:30集会（小雨決行）

16:00パレード（荒天中止）

□ 沼津中央公園



7月17日パレード

.....

改憲を断念させよう

スタンディング

□ 8月19日・26日（土曜）

13:30~14:15

□ 沼津駅南口イーラde前

**広島の声 小西悟さん  
直接被爆・距離4.5km  
(江波)、被爆時16歳、  
東京都杉並区、没**

1 8月7日の朝、広島に出た。己斐から比治山まで、何も無いがらんだの焼けあとだった。呆然として歩いていたら、ふと「水をくれ！」という叫び声が耳をうった。

そこにはぶよぶよに煮えてふくれあがった顔があった。目も鼻も口もすっかり煮えくずれて、まるで豆腐の塊であった。私はそのあと何を見たのか、どこをどう歩いたのかおぼえがない。8月6日の記憶もわずかな断片のほかはすっかり失われた。

原爆は私から、人間としての思考力、判断力ばかりか感受性までもうばい去った。・原爆は人間的なもの的一切をうばい、「人間をうばう」。

2 原爆はたぐさんのひとをこのうえないむごたらしいやり方でなぶり殺しにし

た。トーフ顔の男もその一人である。どんなに苦しかったことか、くやしかったことかと思う。・

3 この悲惨、この核戦争地獄を二度とくり返させてはならない。・核兵器は悪魔の道具であり、絶滅の兵器である。人間の世界から永久に追放しなければならぬ。

(2010修正) 被爆者からのメッセージ・朝日新聞より

**核兵器 終わりの始まり**

始まり

2017年7月7日、ニューヨークの国連総会で、核兵器禁止条約が採択された。

その前文には「核兵器の使用による被害者（ヒバクシャ）、核兵器の実験によって影響を受けた人々の受け入れがたい苦痛と危害に留意し」と書き込まれた。歴史的な一歩が踏み出された。さらに一日も早い核兵器廃絶へ。日本政府は核兵器禁止条約交渉に不参加

ある被爆者は「国に裏切ら

れた」と厳しい批判。身を伏せよう!?

弾道ミサイル落下時の行動として、物陰に身を伏せる、窓から離れるなどを処方するテレビCMが流されている。

政府が、民放43局、新聞70紙とウェブに3億4千万円を投じている。

北朝鮮の挑発、核ミサイル開発を止めさせるために、国際協力し粉骨砕身すべきなのに、恐怖を煽りたてるばかり。おかしい。

**辺野古工事差し止めを**

沖縄県の岩盤破碎許可を得ないまま政府が辺野古新基地建設を強行していると、沖縄県が政府を那覇地裁に提訴した。

裁判中、政府は工事を停止すべき。

**南スーダンと日報隠しと**

稲田大臣が日報問題で辞

任。だが、辞任で日報隠しを図ろうとの魂胆が。

「戦闘」を「衝突」に言い換え、「戦闘」が記されている日報を隠す。

南スーダンで自衛隊に戦争法の新任務をやらせようとする、安倍政権には、一人ひとりの自衛隊員の命を思う心根はない。

**もう一つの顔**

都民ファーストの会、前・現代代表二人の憲法観。

**小池百合子知事**

「いったん現行の憲法を停止する。その上で新しい憲法をつくっていく」

(2000年11月衆院憲法調査会。)

「借り物の憲法記念日を祝日から外す」

(2011年8月ツイッター。)

**野田数代表**

「日本国憲法は無効で大日本帝国憲法の復活を(趣旨)」との都議会請願に東京維新の会として紹介議員となる。

2012年8月。不採択。

**7月集会  
ABE IS OVER  
に拍手喝采**

7月17日午後、酷暑の中、「改憲を断念させよう」の集会・パレード。

戦争させない・沼津の会代表の一人、牧師・石川望さんが、日本国憲法の3大原則、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について話されました。平和主義は第2次世界大戦、アジア太平洋戦争を通じて戦争の悲惨さを痛感した日本は、「戦争の放棄」、「戦力の不保持」、「交戦権の否認」を憲法に定めています。これを改定することは許せないと訴えました。

パフォーマンスとして、

替え歌「モシモシ アベさん アベさんよ」を全員で大合唱。

「LOVE IS OVER」の替え歌「ABE IS OVER」の熱唱に拍手喝采も。怒りの数々の発言の後、パレードに。

ABE IS OVER で検索するとYouTubeで歌が出ます。(